

福井県あわら市の中学生が下妻市を訪問
—あわら市との教育交流事業—

令和6年度の下妻市と福井県あわら市の教育交流事業が8月19日から20日にかけて行われました。

戦国武将多賀谷氏の縁で、両市の市民が交流を深めてきたことから、平成27年11月に下妻市とあわら市は姉妹都市提携と災害時の相互応援協定を結び、これまで良好な関係を深めてきました。

この教育交流事業は、お互いの地域を知ることやスポーツ交流を通して、子どもたちにも両市に関わる歴史的背景を学んでほしいということから、平成29年度から行われているものです。

今年、あわら市の中学生(中学2・3年生)13名が下妻市を訪れ、本市からは市立3中学校の生徒24名(中学2・3年生)が参加しました。20日に行われた合同研修会では、それぞれの学校紹介が英語によって行われたほか、生徒会の取り組みやより良い学校づくりについて熱心に意見交換する姿がみられました。

研修会に参加した下妻中学校のムキ アナビヤさんは「いろいろな意見が聞けて良かった」、千代川中学校の浅野葉月さんは「あわら市と仲を深めることができ良かった」と話していました。

戦国時代に下妻の地を治めていた多賀谷重経の嫡男三経が、関ヶ原の戦いのあと現在のあわら市に領地を得たことが両市をつなぐストーリーの始まりで、三経公のお墓があわら市の指定文化財になるなど、今もなお、あわら市の方々に大切にされています。長い年月を経て、両市の中学生同士が交流を深める様子は感慨深く、古からの縁を感じます。

今後もこのような取り組みを通して、下妻市とあわら市の絆が深まることが期待されます。

図 指導課

①②合同研修会の様子(ふるさと博物館にて)
③多賀谷氏が築いた城下町を筑波山テラスから眺めるあわら市の中学生



ふるさとまつり
連合渡御

7月27日、下妻市の千代川地区で「第27回ふるさとまつり連合渡御」が開催され、約2,000人ももの観客で賑わいました。

今年で27回目を迎える本まつりは、千代川地区の神輿や囃子などの伝統文化を通して地域の活性化と交流の場を提供することを目的としています。

当日は、地域を代表する神輿9基と山車6台が一堂に会し、お囃子の演奏とともに、沿道を練り歩きました。「ソイヤーソイヤー」と勇壮な掛け声が響き渡り、観客を魅了していました。

沿道には多くの見物客が詰めかけ、華やかな神輿に目を輝かせる子どももの姿や、浴衣姿でかき氷を食べる高校生など、笑顔に包まれた賑やかな光景が広がっていました。

観客は「神輿と山車がこれだけ集まると迫力があって見応えがあるね」と笑顔で神輿を見上げていました。今年途中で雷雨に見舞われ中止を余儀なくされましたが、地域の伝統文化を堪能できるまつりとなりました。



下妻発ビール列車

下妻駅⇄守谷駅

下妻市制施行70周年を記念した下妻駅発着のビール列車が関鉄グループの主催により運行されます。筑波山の雄大な車窓風景を眺めながら、美味しいビールと下妻産の食材を使用したお弁当をお楽しみください。

10月26日 土 12時30分～15時 (受付: 11時45分～12時15分)

申込方法 下記の二次元コードよりお申し込みください (パスマーケット利用)

料金 1人7,000円(税込)

募集定員 80名 ※先着順



時間および料金は変更となる可能性があります。詳しくは関東鉄道HPをご覧ください。



お申し込みはこちら (パスマーケット)



お問合せ 関鉄観光バス(株)ビール列車係
TEL 029-822-3727(平日9時～17時30分)